あさひまち

広　報

2003年3月号
No. 556

特　集　ともに考えよう **地域の未来** ～市町村合併を考える～

町政スポット／町消防団の組織再編、統一地方選挙、ＡＤＳＬ開通
まちの話題／生涯学習推進大会、ワインの夕べ、児童会歌発表会　ほか

お点前（てまえ）を披露
（ふたば保育園ひなまつりお茶会　3／3）

特集◐市町村合併を考える／シリーズ③

ともに考えよう地域の未来

さまざまな角度から市町村合併問題を検討

市町村合併問題について、町では平成14年5月、役場内に「市町村合併調査研究会」を立ち上げ、さまざまな角度から調査研究を行ってきましたが、このたび調査結果がまとまり、報告書が提出されましたので、その内容を要約してお知らせします。

国では、地方分権の推進や少子高齢化の進行、多様化する住民ニーズ、国・地方ともに厳しい財政状況への対応などから、平成十七年三月末を期限と定めた合併特例法などを設けて強力に市町村合併を推進しています。

しかし、市町村合併は国が強制的に行うものではなく、二十年、三十年という長期的な目で、住民のみなさんの最も身近な自治体として、どうしたら将来にわたって住みやすく、幸せに暮らしていけるかという視点でその是非を判断しなければなりません。

将来の朝日町に誤りのない方向付けを行うために、町民のみなさんとの十分な論議の上、意向を集約して最終判断を行う必要があることから、判断材料としてより的確な情報を提供するために昨年五月、役場内に課長補佐級の職員十三人からなる「市町村合併調査研究会」を立ち上げました。

研究会では、合併の相手方として、地理的・歴史的に最も現実的と思われる寒河江西村山の一市四町が仮に合併した場合を想定し、人口や財政などの将来展望、合併しない場合と合併した場合の予測、長所や短所などの調査研究を行ってきました。

その内容をQ&A方式で紹介します。

特集 ◑ **市町村合併を考える／シリーズ③**

ともに考えよう　地域の未来

合併すると、どうなるの？

合併のメリット（長所）とデメリット（短所）

Q　町の名称はどうなるの？

A　合併により新たな市が誕生するので、現在の「朝日町」という町名は無くなってしまいます。

合併後の新市名については、法定合併協議会設立後に検討されますが、合併の仕方「対等合併」か「吸収合併」によっても名称が変わるものと思われます。

また、現在指定している町の木や花、動物、鳥、町民憲章なども見直され、変更されると考えられます。

Q　自治体の規模が拡大するとどうなるの？

A　合併した場合の人口は約九万二千人で、現人口のおよそ十倍になります。

自治体の規模が拡大すれば、国や県が現在行っている事務の一部（例えば、障害者や生活保護の調査・認定など）が移譲され、より迅速に、自治体独自の条件や方法で住民サービスができるようになりますが、これまで過疎地域として受けることができた国の有利な財政支援などは一部受けられなくなります。

Q　議員や職員はどうなるの？

A　合併した場合、議員の任期特例などもありますが、基本的には町長をはじめとする四役、議会議員、農業委員などの特別職は、現在の身分を失います。合併後に行われる選挙によって、新しい市長や議会議員が決まり、その後、助役・収入役などが選任されることになります。寒河江西村山管内の特別職は現在二百六十二人いますが、合併すれば九十三人となり、それにともない百六十九人分約五億七千万円の報酬が節減できると予想されます。

議会議員は現在の九十九人から三十人へと大幅に減ります。報酬などの経費は大幅に節減されるものの、住民の声は行政に届きにくくなるのではと心配されます。なお、合併した場合、朝日町からの当選は人口の比率からみて三人程度と推測されます。

行政職員は、一市四町と広域行政事務組合の職員を合わせると全体で千人ほどになりますが、同じ人口規模の自治体と比べて約二百人多く、総務や企画などの管理部門を主に、長期的な計画で削減されると思われます。これにより、相当の給与を減らすことができますが、住民サービスの低下が懸念されます。また、当分の間、新規の職員採用ができなくなる可能性もあります。

Q　役場や住民サービスの窓口はどうなるの？

A　合併した場合、朝日町が新しい市の中心地となることは難しく、現在の役場庁舎は支所（支庁）

■人口などの比較

人口予測：財団法人日本統計協会

	朝日町の現況（平成12年度）	合併しない場合（平成22年度）	合併した場合（平成22年度）	
			合併市	朝日町区域が占める割合
行政区域面積	196.73㎢	196.73㎢	935.34㎢	全体の21.0%
総人口	9,337人	8,156人	87,620人	全体の 9.3%
0～14歳	1,288人（13.8%）	896人（11.0%）	11,413人（13.0%）	全体の 7.9%
15～64歳	5,169人（55.4%）	4,550人（55.8%）	51,966人（59.3%）	全体の 8.8%
65歳以上	2,880人（30.8%）	2,710人（33.2%）	24,241人（27.7%）	全体の11.2%

■議会議員などの比較

	朝日町の現況（平成12年度）	合併しない場合（平成22年度）	合併した場合（平成22年度）	
			合併市	朝日町区域が占める割合
議員数	18人	平成15年度より16人	法定30人	約３人当選（人口比率より） ※職員一人当たりの町民数 現在518人 合併後2,921人
職員数（一般行政職）	普通会計　107人	減少傾向	類似団体の場合 502人	※職員一人当たりの町民数 現在87人　合併後175人
行政委員会	教育委員５人 農業委員16人	減少傾向	教育委員５人 農業委員47人	教育委員0.5人 農業委員　４人

になり、当面、住民窓口などの基本的なサービスは残るものと思われます。

近い将来、住民票などの各種証明書がICカードにより取得できるようになるなど、より便利になることも予想されますが、すべての行政業務が支所で対応できるとは限らず、少なからず遠くの本庁舎に行かなければならなくなると考えられます。

住民サービスの内容については、職員の削減や行政区域の広域化によって、住民個々の状況を十分に把握した、きめ細やかな対応が困難になると予想される一方、小規模市町村では採用困難な専門職（例えば、社会福祉士や学芸員など）が採用できるようになり、職員の専門性が高くなることで、業務内容により精通した、スムーズな対応が期待できます。

Q 日常生活はどうなるの？

A 図書館や体育館、保育園などの公共施設は広域的に多種多様な利用が可能となり、便利になると思われる反面、規模の縮小や統廃合なども考えられます。

小中学校についても統廃合が考えられますが、統合がすでに進んでいる朝日町においては、当面はこのままの施策で進むものと思われます。

町立公民館や町立病院の運営・機能、また、除雪や申告相談などの対応についても現体制を維持できるか懸念されます。

交通面については、利用者の少ない山間部ではバスの運行回数が減るなどの恐れがあります。しかし、各市町で運行している自治体バスが一元管理されることで効率的な運行が可能となり、通院・通学などにおいてより利用しやすくなることも考えられます。

Q 税金や公共料金はどうなるの？

A 個人市町民税については現在、寒河江西村山管内すべての市町が標準税率を適用しており、均等割負担は同額（二千円）になっていますが、合併すれば自治体の人口規模が五万人以上となるため、五百円ほど引き上がる可能性があります。

法人市町民税、固定資産税、国民健康保険税などの税率については、各市町でバラツキがあり一律ではありません。合併した場合、合併市町村間に著しい税の不均衡がある際には、不均

■市町民税などの比較（平成12年４月１日現在）

		朝日町	大江町	西川町	河北町	寒河江市
市町民税（個人均等割）		2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
市町民税（法人税割）		14.5%	14.5%	14.7%	14.5%	14.5%
固定資産税		1.55%	1.40%	1.60%	1.40%	1.40%
都市計画税		－	0.13%	－	0.30%	0.30%
国民健康保険税（医療分）	所得割	4.5%	6.0%	5.5%	5.4%	6.2%
	資産割	33.0%	40.0%	38.0%	29.4%	31.0%
	均等割	16,500円	12,200円	16,000円	15,900円	17,400円
	平等割	31,300円	18,000円	22,000円	25,800円	22,800円
国民健康保険税（介護分）	所得割	0.61%	0.70%	0.65%	0.48%	0.78%
	資産割	5.1%	4.00%	7.00%	3.62%	4.20%
	均等割	5,500円	4,000円	4,000円	5,700円	4,200円
	平等割	3,600円	6,000円	3,000円	3,600円	2,400円
介護保険料	基本月額	2,440円	2,456円	2,460円	2,460円	2,420円
	最高額	43,920円	44,208円	44,280円	44,280円	43,560円
入湯税	宿　泊	150円	150円	150円	－	150円
	日帰り	75円	150円	75円	－	75円

■公共料金の比較（平成12年４月１日現在）

		朝日町	大江町	西川町	河北町	寒河江市
水道料金（口径13㎜）	10㎥	2,120円	2,520円	2,040円	2,247円	2,520円
	20㎥	4,530円	5,040円	4,070円	4,294円	4,252円
簡易水道（10㎥）		－	2,520円	2,040円	－	2,520円
下水道料金（20㎥）		－	3,517円	－	3,150円	3,517円
農業集落排水（20㎥）		3,360円	2,940円	4,070円	3,150円	－
ごみ処理手数料（もえるごみ袋１枚）		40円	40円	40円	20円	40円
窓口証明手数料（住民票）		400円	300円	300円	400円	400円
保育料（３歳未満児１人１カ月当たりの最高額）		40,000円	35,000円	35,200円	44,000円	58,000円

一課税の特例によって、合併後五カ年間は今の税率を適用することができますが、最終的には税率の均一化が図られ、項目によって負担増、負担減が生じると予想されます。また、朝日町では現在設けていない都市計画税が新たに課税される可能性もあります。

しかし、国民健康保険や介護保険については、人口の増加にともなって課税者も増えるので、より安定した運営ができるようになると考えられます。

公共料金についても各市町間でバラツキがあり平準化される可能性があります。

サービス・負担ともに高い方に調整されることも考えられますが、サービスは高い方に、負担は軽い方に調整された場合には、水道料金を除き、負担が軽くなると予測されます。

Q　地方交付税などの財政面はどうなるの？

A　合併のスケールメリット（人口規模の拡大の利点）によって四役や議員、職員などの人件費が大幅に削減され、財政の基盤が強化されると考えられます。

また、合併することで自治体の魅力が大きく高まり、県内外からの転入者や新規立地企業が増加し、地方税が増えることも期待されます。

合併した場合の普通交付税については、特例措置により合併後十年間は合併しなかった場合に得るべき額が保証され、さらにその後五年間は激変緩和措置がとられることになっています。しかし、その後は自治体規模に見合った額が交付されることになり、その額は現在一市四町で受けている額よりも下回ると予想されます。

また、それぞれの市町の地方債（借入金）は、合併により無くなるわけではなく、すべて新しい自治体で返済していかなけ

■平成12年度決算の状況

	朝日町	大江町	西川町	河北町	寒河江市	西村山広域	合計
人口	9,337人	10,477人	7,452人	21,476人	43,379人	－	92,121人
歳入総額	65億 8,912万円	58億 1,054万円	58億 3,006万円	77億 8,679万円	176億 2,207万円	－	436億 3,859万円
地方税（自主財源）	6億 5,653万円	7億 6,569万円	10億 4,961万円	20億 2,152万円	50億 2,463万円	－	95億 1,801万円
地方交付税ほか（依存財源）	59億 3,259万円	50億 4,485万円	47億 8,045万円	57億 6,527万円	125億 9,744万円	－	341億 2,058万円
歳出総額	62億 8,791万円	55億 7,925万円	56億 5,218万円	76億 261万円	169億 4,955万円	－	420億 7,151万円
住民一人当たりの歳出	67万円	53万円	75万円	35万円	39万円	－	45万円
基金総額（積立金）	10億 5,493万円	9億 4,176万円	14億 2,748万円	13億 666万円	7億 9,083万円	1億 5,118万円	56億 7,286万円
地方債残高（借入金）	80億 7,657万円	83億 5,101万円	74億 4,195万円	90億 1,660万円	213億 1,925万円	65億 6,615万円	607億 7,154万円
債務負担額	9,357万円	5億 3,510万円	10億 4,471万円	3億 1,043万円	29億 7,695万円	－	49億 6,077万円

■普通交付税の推移

	朝日町	大江町	西川町	河北町	寒河江市	合計
平成12年度	27億5,479万円	26億3,160万円	23億2,931万円	28億8,429万円	43億2,750万円	149億2,751万円
平成13年度	25億8,740万円	24億9,057万円	22億3,234万円	27億6,618万円	41億5,733万円	142億3,384万円
平成14年度（交付基準額）	23億9,203万円	23億2,948万円	20億9,044万円	26億4,891万円	39億8,623万円	134億4,711万円

町民のみなさんの利益を最優先に考え取り組みます

朝日町長　清野　隆

私たちが住んでいる町「朝日町」は、昭和二十九年十一月一日に一町二村が合併して誕生しました。あれから約五十年が経過した今日、国、地方とも厳しい財政状況、地方分権の推進、少子高齢化の進行などを背景として国県を挙げて市町村合併が叫ばれており、平成十七年三月の合併特例法の時限を控えて、全国的に論議されている状況にあります。

特に地方自治は、自己決定と自己責任の時代へと移り、その自治体の力量が問われる時代と言われており、福祉行政の充実をはじめ町民サービスの質的向上が求められる反面、厳しい財政環境から今後ますます大変な行政運営が予想されます。このことから、市町村合併論議は避けては通れない課題であると認識しており、いずれを選択するにしても町民みんなで、町の将来に悔いを残さぬようしっかりと見定め、慎重に論議し、朝日町のあるべき姿「夢のある町」を実現しなければならないと考えております。

当町では、昨年庁内に市町村合併調査研究会を設置し、西村山広域の合併調査研究委員会と並行して検討してきました。このほど町の調査報告書が提出されましたので、今後地域座談会などにおいて、具体的にみなさんにお知らせして論議を重ねていきたいと考えております。

西村山広域行政圏市町合併調査研究委員会における報告書につきましても、これまで、西村山広域の理事会（一市四町の首長が参加）において協議を進めてまいりました。先月二十八日には寒河江市役所において、合併を主題とした広域理事会が開催されましたが、三月一日の山形新聞などに掲載された通り、広域の枠組みである一市四町では各市町に温度差があり、大江町、河北町は一緒に参加できないということであり、やむなく寒河

ればなりません。

国や地方を取り巻く厳しい財政状況は今後も続くと予測されます。「合併する」「合併しない」いずれにせよ、自治体は行財政改革を推進しながら行政コストの削減と財政の健全化に積極的に取り組んでいかなければなりません。そのためには、行政情報の積極的な公開とともに、住民のみなさんの積極的な行政参画、住民のみなさんと行政の役割分担などが非常に大切になってくるものと思われます。

Q　新しいまちづくりはどうなるの？

A　道路や公共施設の整備、宅地開発、土地利用、環境の分野などでは、広域的視点に立って効果的な事業が実施できるようになると考えられます。

特に、観光分野においては、国道一一二号線と二八七号線を利用した中山間地域のリゾート地同士の連携が円滑にできるようになり、地域全体の振興発展が期待されます。

広域的な観点からの地域づくり・まちづくりが可能になる反面、これまで築きあげてきた町のイメージや特色あるまちづくりなどは新たなものに統一され、失われてしまう恐れがあります。

合併した場合は「市町村建設計画」を作成するとともに、旧市町ごとに「地域審議会」を設立し、均衡のとれた新しいまちづくりを計画的に進めていくことになります。

合併により新庁舎の建設や公共施設の整備、コンピュータシステムの統一化など、新たな財政負担が生じる可能性がありますが、これらの事業に対しては、合併補助金や合併特例債などの適用を受けることができます。ただし、合併特例債は七割が地方交付税として交付されるものの、残り三割は返済しなければなりません。

町民・行政が一体となって地域の未来を考えよう

「合併は新たな地域づくりの一つではないか」「合併に頼らなくとも現在の厳しい状況を解決できる方法は考えられないか」など、さまざまな意見があると思いますが、市町村合併を考え

ともに考えよう　地域の未来

江市、西川町、朝日町の一市二町で、市町村合併を勉強するための任意協議会設立準備会の設置について話し合われたものであります。

私は、市町村合併問題を勉強するには、広域事務組合が進めてきた一市四町の枠組みが最も望ましい姿と思いますし、隣町である大江町にもぜひ参加をいただきたいと考えており、さらに検討を深めるには、任意協議会の設置も必要であると思っております。

しかし、当町においては現段階では議会との話し合いや町民との座談会など、これからまだまだ時間を要するものと思っております。理事会の中で基本的方向は確認したものの、私は強くこのことを申し述べたところであり、この点で私の考えと新聞報道の内容が多少食い違っていると思ったところであります。

私は、任意協議会設立準備会を進めたいとは考えておりますが、これは法定協議会へ、そして合併するための第一段階とは捉えておりません。あくまで、合併問題を勉強するための組織であると考えており、他の市町長にもその旨を話しております。

市町村合併問題については、何よりも町民の利益を最優先に考え、取り組まなければならないという決意を持っておりますので、特段のご理解をいただき、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

■町政座談会の日程

日時	場所	対象集落
3月25日（火） 午後7時～	西部公民館	常盤、夏草、長沼、西船渡、八ツ沼、能中、高田
3月26日（水） 午後7時～	西部公民館	太郎一、太郎二、太郎三、石須部、立木、白倉、松程、大船木、今平
3月31日（月） 午後7時～	秋葉山交遊館	北部全集落
4月2日（水） 午後7時～	創遊館	本町、西町、栄町、助ノ巻、大町、元町、西原、新宿、前田沢、四ノ沢、雪谷、緑町
4月3日（木） 午後7時～	和合公民館	小原、宿、沼向、平、大隅
4月7日（月） 午後7時～	送橋公民館	古槇、送橋、下芦沢、水本
4月8日（火） 午後7時～	上郷公民館	杉山、松原、宇津野、大滝

る上で一番大切なことは、「活気ある地域をつくっていくにはどうすればいいか」「住みやすい地域をつくっていくにはどうすればよいか」ということではないでしょうか。

住民と行政が一体となって考えなければならない重要な問題「市町村合併」。地域の未来の進路は、町民のみなさんの総意により決定されます。そのため町は、判断材料となる「情報」と「だれでも参加できる議論の場」を提供したいと考えています。

三月下旬から四月上旬にかけて町内七カ所で、市町村合併問題に関する町政座談会を開催します（日程は左上に掲載）。今回の座談会は、二十年、三十年後の地域づくりを考えるものですので、たくさんの方に集まっていただきたいと思います。将来を担う若い方や女性も積極的に参加していただき、ぜひご意見をお聞かせください。

子どもたちに明るい未来を届けるために

地域を守る消防団

朝日町消防団の組織を再編

朝日町消防団の組織体制が四月から変わります。

朝日町消防団組織活性化計画に基づき実施されるもので、これまでの三分団十七部体制から、三分団十三部体制へと再編されます。

団員の就業形態の変化や集落の過疎化の進行など、消防団を取り巻く環境の変化を背景に見直されたもので、消防団活性化計画では部の再編のほか、「初任団員訓練は一泊二日から一日にする」「春季消防演習の中隊訓練は廃止する」などといった消防団活動に参加しやすい環境づくりと、自主防災組織との連携強化の推進を掲げています。

「組織の再編を機に、さらなる活性化を図りたい」と語る柴田七郎兵衛団長（大町）。

新たな組織体制で臨む今年の春季消防演習は、四月二十日（日）午後一時より朝日中学校グラウンドおよび宮宿中央通りで行われる予定です。

分団	部	区域
第一分団	第一部	本町、西町、栄町、助ノ巻、大町、元町、西原、雪谷
	第二部	前田沢、新宿、四ノ沢、緑町
	第三部	小原、宿、沼向、平、大隅
	第四部	古槙、送橋、下芦沢、水本
	第五部	杉山、松原、宇津野、大滝
第二分団	第一部	太郎一、太郎二、太郎三、石須部、立木、白倉
	第二部	松程、大船木、今平
	第三部	西船渡、八ツ沼、能中、高田
	第四部	常盤、夏草、長沼
第三分団	第一部	大谷一、大谷二、大谷三、大谷四、大谷五、大谷六、大谷七
	第二部	大暮山、大沼
	第三部	中沢、真中、舟渡
	第四部	栗木沢、川通

町立病院副院長に浦山先生が着任

これまで町立病院の副院長（外科医長）だった大塚聡先生の公立高畠病院への異動にともない、後任に３月１日付けで浦山雅弘先生が着任しました。

浦山先生はこれまで山大病院をはじめ、県立河北病院、寒河江市立病院などに勤務。消化器外科が専門です。

着任のインタビューでは「患者さんの立場にたった医療を心がけています。心配ごとがあれば気軽に質問してください」とにこやかに話してくれました。

電話67局エリアにADSLが開通

昨年12月、町と町商工会、同会青年部が連名で要望書を提出していたＡＤＳＬ（非対称デジタル加入者線）整備の件について、このたびＮＴＴより回答があり、４月25日より市外局番67局エリア（宮宿地区を中心に）で開通することが決まりました。

これにより、インターネットの高速通信が可能となり、情報化による地域振興が期待されます。

なお、市外局番68局北部地区については、一日も早く開通するよう引き続き要望していきます。

この一ぴょう ぼくらの未来に 夢はこぶ

統一地方選挙
4月13日は山形県議会議員選挙
4月27日は朝日町議会議員選挙
の投票日

山形県議会議員選挙と朝日町議会議員選挙が来月行われます。

朝日町議会議員選挙については、このたびの選挙から定員が二人減り、十六人になります。私たち住民の代表を決める議員選挙、棄権せずに投票しましょう。

投票のできる人

県議会議員選挙は、昭和五十八年四月十四日までに生まれた方で、平成十五年一月三日までに転入届を出した方です。

ただし、朝日町の選挙人名簿に登録されている方で、県内の市町村に住所を移した場合は、その住所移転が一回限りであれば朝日町で投票することができます。この場合、移転先の市町村が発行する「引き続き山形県内に住所を有する旨の証明書」が必要になります。

町議会議員選挙は、昭和五十八年四月二十八日までに生まれた方で、平成十五年一月二十一日までに転入届を出し投票日当日に朝日町に住所を有する方です。

不在者投票はお早めに

投票日に、次の事由で投票所に行って投票できない方は、早めに不在者投票をしましょう。

①投票区の内外を問わず、職務または業務に従事中の方
②何らかの用務などで投票区の区域外にいる方
③病気、ケガ、お産などで著しく歩行が困難な方
※指定する病院などに入院している方は、その施設内でできますので、早めに申し出てください。(町立病院、明鏡荘、ふれあい荘が指定されています)

県議会議員選挙の不在者投票は、四月四日から四月十二日まで、町議会議員選挙の不在者投票は、四月二十二日から四月二十六日までの、いずれも毎日午前八時三十分から午後八時までの時間、町選挙管理委員会事務局(町開発センター一階研修室)で受け付けます。土曜日、日曜日も受け付けます。

なお、告示日前から長期出張などで不在になる場合は、滞在地の選挙管理委員会で不在者投票ができます。できる限り早めに町選挙管理委員会に申し出てください。(告示日前でも投票用紙を請求することができます)

郵便(不在)投票される方

町選挙管理委員会から郵便投票証明書の交付を受けている方は、県議会議員選挙は四月九日まで、町議会議員選挙は四月二十三日までに投票用紙の請求をしないと投票できませんので、早めに証明書を添えて請求してください。

不明な点は、町選挙管理委員会(☎67―2111)にお問い合わせください。

投票日に行けない人も大丈夫

明るい選挙標語決まる!

朝日町明るい選挙推進協議会(川村新一会長)では、事業の一環として町内小学校児童を対象に、明るい選挙啓発推進の標語を募集しました。全部で360点の応募があり、特選に宮宿小学校6年渡辺大貴くんの作品が輝きました。特選および入選作品は、啓発チラシなどに掲載して明るい選挙を広く呼びかけていきます。

☆特選「この一ぴょう　ぼくらの未来に　夢はこぶ」
宮宿小学校6年　渡辺大貴

☆入選「その一票　明るい未来の　道しるべ」
西五百川小学校5年　佐竹　皓宇

☆入選「せんきょから　あかるいみらいが　みえてくる」
大谷小学校1年　堀　智哉

☆入選「この一ぴょう　ぼくらのみらい　まかせるよ」
宮宿小学校1年　鈴木　奏

☆入選「ぼくらの　未来へつなぐ　この一票」
和合小学校4年　鈴木　直人

☆入選「未来はね　一人一人の　選挙から」
上郷小学校6年　長岡　愛

☆入選「その一票　明るい町への　第一歩」
大谷小学校5年　志藤　一樹

まちの話題

❶ 第15回朝日町生涯学習推進大会

婦人文化教室の「リフォームショー」

村づくりにかける熱い思いが語られたパネルディスカッション

身近な宝を利用し地域の活性化を

「身近なところにお宝発見～学びあう地域づくりをすすめよう～」をテーマにした第15回朝日町生涯学習推進大会が２月23日、創遊館に約400人の町民が参加し開催されました。

大会でははじめに、今年度の朝日町体育協会の表彰式が行われ、殊勲賞や優秀賞、奨励賞に輝いた13人にそれぞれ賞状とメダルが白田金次郎会長より授与されました。

続いて、学習活動の事例発表があり、送橋村づくり実行委員会の村づくりの紹介、町連合婦人会女性文化教室の「リフォームショー」、町内の人形劇団「はなまる」による国民文化祭の人形劇発表が行われました。

中でも、着古した着物やワイシャツを作り直して、エプロンやワンピースに見事によみがえらせ、自ら試着してのショーには会場から盛んな拍手が沸きあがりました。

その後、「身近なところにお宝発見。～まちの宝がくらしを良くする～」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。パネラーには金山町で暮らし考房を主宰する栗田和則さんと山辺町作谷沢でまんだら塾渉外部長をしている吉田朝夫さん、ＮＰＯ朝日町エコミュージアム協会理事長の安藤竜二さんの３人が登場。山形大学人文学部の大川健嗣教授がコーディネーターを務めました。

それぞれの実践を通した村づくりにかける熱い思いが語られ、会場からも次々に質問や意見が出され盛会なパネルディスカッションになりました。

❷ 創作童話集「ぬくひやま」

世界でたった一つの童話集完成

上郷小学校で進めてきた創作童話づくりがこのたび終了し、全校児童27人の作品が一冊の本にまとめられ、２月19日子どもたちに手渡されました。

同校では昨年11月、卒業生で児童文学作家の最上一平さん（宇津野出身・東京都在住）を招いて創作童話の課外授業を実施。「物語には必ず何か感動があるので、その感動を大切に」などのアドバイスを受けて、創作童話づくりに挑戦していました。

釣ったイワナが「こんにちは」と話しかけてきたり、魚が舟を食べてしまうなど、どの作品も自由な発想で書かれており、個々の感性が光ります。

安藤雄太くん（６年）は「学校最後のよい記念になりました。大切にしたいです」と話していました。

❸ 児童会歌の発表会

3校の児童が一堂に会して行われた発表会

心を一つにし、高らかに歌い上げた

統合に向け心一つに

2月25日、送橋・上郷・宮宿小学校の児童179人が一堂に会して、新生宮宿小学校の児童会歌「明日に向かって」の発表会が行われ、創遊館ホールいっぱいに元気な歌声を響かせました。

4月に統合を控える3校は、「全児童が気持ちを一つにして新たなスタートのきっかけに」と、フォークコーラスグループ「あめっかぜ」のリーダー松田昌弘さん（大町）に歌の制作を依頼。この日は「あめっかぜ」のメンバー11人も参加し、歌い方の指導とオリジナル曲5曲を披露してくれました。

児童会歌は「いつも明日に感動を求めて〜明日へと向かってゆく」という前向きな歌詞と心に響くやさしいメロディ。みんなで新しい学校を築くための応援歌、第二の校歌にふさわしい、すてきな歌が完成しました。

❺ 地域の学校づくり推進会議

地域の学校づくり どうすすめる

よりよい教育環境づくりを目的に朝日中学校では今年度、地域のみなさん10人を委嘱して「地域の学校づくり推進会議」（鈴木治郎委員長）を開催してきました。

2月19日、同校において最終会議が開催され、これまで話し合われてきた「学校づくりの評価」「学校・家庭・地域の教育課題とそれぞれの役割」などについて総括。「今後も三者が協力しながら子どもたちを育てていかなければならない」などのまとめと提案がされました。

なお、今月発行される朝日中学校ＰＴＡだより「ひめさゆり」に詳細が掲載されていますので、ご覧ください。

❹ ワインの夕べ

ワインとダチョウ料理に大満足

エレクトーンとフルートの調べがしっとりと流れる農業団地センターで2月22日、ワインの夕べが開催され、200人を超すワインファンが芳醇な香りを楽しみました。

今年で第7回を数えるワインの夕べは、アイスワインやあじぴかワインなど18種類を準備。今年のブドウは天候に恵まれ、糖度、酸味とも程よくマッチした逸品ぞろい。ワインコーナーには、お目当てのワインの出来栄えを確かめるワイン通が列をつくりました。また、ごちそうは町商工会女性部が中心となり、町の特産品にこだわった料理を提供。赤ワインで味付けしたダチョウ肉にりんご煮を添えた「ダチョウステーキ」やにんにくでこくを出した「ダチョウのタタキ」を中心に、ジェネバやあじぴかワインのゼリーなどワインにぴったりの料理が所狭しと並べられました。

最後に、無料車検券1人分をはじめ町内飲食店の無料飲食券、アイスワインなどが85人に当たる大抽選会も行われ、町内外のワインファンには大満足の一夜となりました。

みんなのひろば

人のために　自分のために

私がサークルに加入したのは昨年秋です。高校生活の大半を占めていた部活動がなくなり、ポッカリ穴が空いてしまったように物足りない生活を送っていた私は、以前から興味があったボランティアをやってみたいと思い、町内の高校生ボランティアサークル「林檎ｔｅａ」に加入しました。

保育園や老人ホームの訪問、演奏会時の託児所開設などのボランティア活動は、ふだんできないことが経験でき、部活動の延長のように楽しく、充実したものでした。保育園の園児とふれあい、帰り際に「また来てね」と言われた時や、老人ホームを訪問し、メッセージを書いた色紙を贈った時にお年寄りから「ありがとう」と笑顔で言われた時は、とてもうれしく、ボランティアをやって本当によかったと思いました。

短い間でしたが、サークルでの体験を通して、いろんなことを学びました。特に、「人は一人では生きていけず、助け合って生きていかなければならない」ということを考えさせられました。

人のため、そして自分のためにもなるボランティア活動。私は大学進学のため、このサークルを卒業しますが、後輩たちには自分たちのしていることに誇りをもって、活発な活動を続けていってほしいと思います。

浅岡　由香里（元町）

町内の老人施設を訪問し、手づくりのカードをプレゼント（1/4）

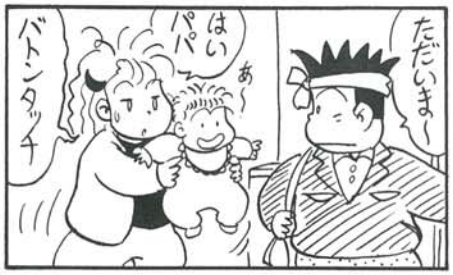
今輝いて

高校生ボランティアサークル
林檎（アップル） tea（ティ）

平成13年7月に結成した林檎tea。
現在のメンバーは女の子のみ10人。
保育園や老人施設の訪問、講演会時の託児所開設、声の広報の録音などのボランティア活動にがんばっています。
現在、会員募集中。ボランティアに興味がある高校生、特に男の子大歓迎！
（連絡先／生涯学習課　電話67−2118）

となりのリンゴさん

作・ホリィ (149)



大谷五／渡邉 健一さん 友美さん 新婚さん

昨年秋に結婚されたので、さぞかしアツアツかと思いきや「７年間付き合っていたので、もうすっかり…空気のようです」と長年連れ添った夫婦のように落ち着いた雰囲気のお二人。

「結婚前の思い出は、いろいろあって思い出せないくらい」というものの、新婚旅行の思い出は格別だったようで、「オーストラリアに行ってきましたが、朝日町とは違った美しい自然がありました。人も物も、何もかも大きくてビックリしました」と、異国の自然や文化にふれ良い刺激になったとか。

「ずうずうしいくらいかも（笑）。お義母（かあ）さんには本当の娘のようにかわいがってもらっています」と、すっかり渡邉家にとけ込んだ友美さん。渡邉家は明るい笑顔でいっぱいです。

「朝日町に若い人がもっとたくさん住んでほしい。だから、働く場やＩＴ化などを積極的に進めてほしいです」と町への期待も話してくれたさわやか新婚さんでした。末永くお幸せに！

今月の新刊

おすすめ本！「フライ・ダディ・フライ」

「おしゃべりな犬」 玄月 著

七十年前に七人の男が「村」を作った。島や大陸から貧しい者が集まり、水かけババアやインチキ牧師も現れた。その村で「おれ」は育った。芥川賞受賞作「蔭の棲みか」に続く長編小説。

「フライ、ダディ、フライ」 金城 一紀 著

おっさん、空をとんでみたくはないか？ はい、とりあえずやってみます…。鈴木一、四十七歳。平凡なサラリーマン。破綻した世界をとりもどすための、ひと夏の冒険の物語。

「イラクわが祖国に帰る日」 勝又 郁子 著

抹殺を逃れた大物達が明かす、イラク情勢の内幕とポストフセインの展望とは？ヨーロッパと中東での国境や大陸はおろか、体制や反体制の枠まで超えた取材を背景に、イラク情勢の内幕を暴き出す。

▶女（藤田宜永）▶おこう紅絵暦（高橋克彦）▶かげろう飛脚（高橋義夫）▶対話篇（金城一紀）▶忘れ雪（新堂冬樹）▶Ｋ・Ｎの悲劇（高野和明）▶ジゴロ（中山可穂）▶第三の時効（横山秀夫）▶妻恋坂（北原亜以子）▶リアルワールド（桐野夏生）▶生きいそぎ（清水辰夫）▶しょっぱいドライブ（大道珠貴）▶天涯の船 上下（玉岡かおる）▶あなた（乃南アサ）

ニュージーランドの交通ルール

1994年、ニュージーランドで交通に関するある法律が定められました。みなさん何だかわかりますか？

それは、「自転車に乗る時には必ずヘルメットを着けなければならない」という法律です。もし、違反すると55ニュージーランドドル、日本円で約3,300円支払わなければなりません。

日本では、朝日町もそうですが、中学生がヘルメットをかぶって通学している姿をよく見かけます。でも、ニュージーランドは、子ども・大人関係なく、自転車に乗る人みんなが着用しなければなりません。

ニュージーランドの田舎では、こんな光景も見られます。

ニュージーランドは農業国です。右の写真のように走行中に羊や牛の横断があった場合には、スピードを落とし、動物が道路を渡り終えるまで停止するか、その後ろをゆっくり走るなど、牧場主の指示に従い走行します。

町民の声

ごみ袋について

ごみ袋のことについて質問します。寒河江地区のごみ袋は山形地区のごみ袋と比べて値段が高い気がしますが、もっと安くならないのでしょうか。

また、家庭用小型焼却炉の使用禁止によって紙類のごみが増えるようになりました。もやせるごみ袋を大きくしてもらえないでしょうか。

（堀　晃さん・元町）

答　寒河江地区クリーンセンター管内では、平成十年度よりごみの有料化と分別収集を実施しています。

ごみを出した分だけ処理料も負担していただこうという「受益者負担」の観点から、ごみ袋の価格にはあらかじめごみ処理費用の一部代金が含まれています。

有料化となった背景には、ごみの減量化意識の高揚などがありましたが、依然ごみの量は増え続けています。有料化によりごみ処理に対する個人の負担が増えましたが、これだけでは足りず、町の予算からも年間約一億五千万円支出しています。

なお、山形地区の場合は、粗大ごみ以外は有料化になっておりませんので、袋代は原材料のみの価格設定になっているものと思われます。

また、もやせるごみ袋の寸法や材質については、生ごみを入れた時の持ち運びや家族の少人

宝くじ助成事業で和太鼓を購入

6年生を送る会で力強く演奏する子どもたち

和合地区子ども育成協議会（鈴木勝治会長）が、平成14年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成）の補助を受けて、和太鼓12個を購入しました。

昭和55年に活動をスタートした和合太鼓は、平成8年育成協議会が中心となり「保存会」を組織。

「郷土に誇りを持つ子どもたちの育成と世代間の交流、地区コミュニティ活動の活性化、自治意識の高揚などをねらいに、より活発な活動を展開していきたい」と鈴木会長は話しています。

各種大会成績

▼家庭婦人バレーボール大会
（12月8日／町民体育館）
①和合②八ツ沼③栗木沢、前田沢

▼町民柔道大会
（12月23日／朝日中武道館）
小学3年以下①佐竹達貴②海野勇也③白田雅喜／小学4年①五十嵐夏美②兼子優希③阿部栞、熊谷基／小学5・6年女①五十嵐愛②岡崎愛③白田沙織／小学5・6年男①高橋拓也②佐竹和

こせきのまど

■2月1日～28日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	渡邉 志野（しの）	女	吉則・康子

おしあわせに

（婚姻届）

石黒光展（栄町）	♡	小林友子（大沼）
長岡友行（常盤）	♡	佐藤美穂（前田沢）
志藤覚（四ノ沢）	♡	大瀧淑絵（山形市）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
前田沢	布施兼松	政彦
前田沢	熊谷はつゑ	留吉
松原	安藤倉藏	タケヱ
沼向	菅井福治	榮治
大沼	白田喜好	美代子
大谷四	白田はな江	剛
舟渡	堀久藏	久雄
松程	阿部金四郎	とよの
ふれあい荘	鈴木ミツル	本人
平	菅井クニヨ	文市

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成15年2月28日現在

人口	9,228人	（20人減）
男	4,578人	（14人減）
女	4,650人	（6人減）
世帯数	2,581戸	（－）

（ ）内前月比

ホームページとEメールのアドレスが変更なりました！

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案、みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課　企画広報係
（☎67－2112　FAX67－2117）
■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

ごみの分別について

四 月からごみの分別が変わるようですが、くわしく教えてください。
（匿名）

答 四月から新たに「水銀含有ごみ」の分別回収とリサイクルが始まります。

水銀が使用されているごみは、破砕されると水銀が周囲に飛散し、環境の悪化を招いてしまうので分別回収を行うことになりました。

水銀含有ごみには、体温計、温度計、血圧計、直管蛍光ランプ、丸型蛍光ランプ、電球型蛍光ランプなどがあります。

ごみの出し方は、

①蛍光管などは買い替え時や購入時の紙製ケースなどに入れ、ケースがない場合は古新聞などに包んで出してください。

②水銀体温計や水銀温度計などの小さいものは、指定袋が入っていた外袋を二枚重ねした袋に、もしくは透明袋に入れて出してください。

（ただし、割れたものはもやせないごみ扱いとなります）

また、カセットテープやビデオテープの分別も変わります。現在「その他プラスチック」に分別していますが、四月からは「もやせるごみ」になります。

これは、処理作業の際、機械にからまるなどして処理が困難なために変更されるものです。

なお、くわしくは先に配布した「保存版／平成十五年度ごみの分け方・出し方」の冊子をご覧ください
（税務町民課）

【水銀含有ごみの出し方】

人③佐藤央規、佐藤健太／中学生以上女①長岡明日香②堀沙織③吉田由美／中学生以上男①菅井幸治②鈴木和也③佐藤雅壱、阿部裕次

▼卓球まつり

（1月26日・町民体育館）

小学男①阿部大樹②村山伸樹③阿部良輝、長岡真也／小学女①海野しずか②阿部春姫③阿部果歩、峯田飛鳥／中学男①佐竹翼②海野郁己③岡崎真人、堀雄介／中学女①大谷美奈子②遠藤希③菅野早苗、鈴木弘美／一般①村山辰雄・鈴木正道②清野友理子・清野紗由美③鈴木和幸・鈴木秀則、渡辺吉蔵・清野信博／一般（ラージ）①長岡典巳・成原千枝②鈴木敬一・清野艶子③柴田美洋子・渡辺節子、伊藤真一・滝川久恵

■広報あさひまち　第556号　平成15年3月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

わたしの作品

「おひなさま」（ペーパードール）

井上　量子（ますこ）さん（常盤）

「同じ形や大きさであっても、紙の色や材質が違うと、まるっきり別のものに見えるんですよ。そこがペーパードールの魅力ですね」と語る井上さん。

１年半ほど前に病院に飾られてあったペーパードールを一目見て気に入り、本を見ながら独学で勉強。本や材料はお孫さんが買ってきてくれるそうで、「ちょくちょく買ってきてくれるものですから、私も一生懸命にならざるをえなくて…」とうれしそうに話します。

そのお孫さん、今年夏に出産される予定で「女の子だったら、お祝いにひな人形を作ってプレゼントしたい」と、やさしい笑顔で話してくれました。

春 夏 秋 冬

編集後記

今月の特集は市町村合併問題。「合併したら、暮らしはどう変わるのかな」「役場の仕事はどう変わるのかな」という視点で、いろいろ調べてみたら、合併の問題点がよく見えてきました。

広報についても、現在他市町で行われている情報が多様に得られるようになりますが、朝日町の地域に密着した情報は、紙面の都合上限られてくるというメリット（長所）とデメリット（短所）が考えられます。

今月下旬から町政座談会が開催されます。「もし、合併したら○○はどうなるのか」「合併しない場合、○○はどうなるか」と、地域の未来予想を町民のみなさん一人ひとりが真剣に描いてみていただきたいと思います。

活力ある暮らしやすい朝日町の地域づくりのために。（F）

広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。